



かがわ食材学習支援事業を行いました（5・6年生）

10月25日（水）に、5・6年生が、かがわ食材支援事業として農業について学習をしました。



みなさん、農業って何でしょう？



子どもたちは、農業は、「米を作る」「野菜を作る」「果物を作る」「肉を生産する」と答えていました。

農業には、「耕種農業（水稻・野菜・果樹）」と「畜産農業（肉牛・乳牛・養豚・養鶏・養蜂）」があります。



但馬地域…肉
 丹波地域…丹波黒・栗・小豆
 阪神地域…花
 （カーネーション）
 播磨地域…米
 淡路地域…玉ねぎ



兵庫県は、5つの地域に分かれています。それぞれどんな農業が盛んでしょうか。

昔、母の日にカーネーション（の開花）が間に合いませんでした。それを、初めて母の日に間に合わせたのが阪神地域なのです。

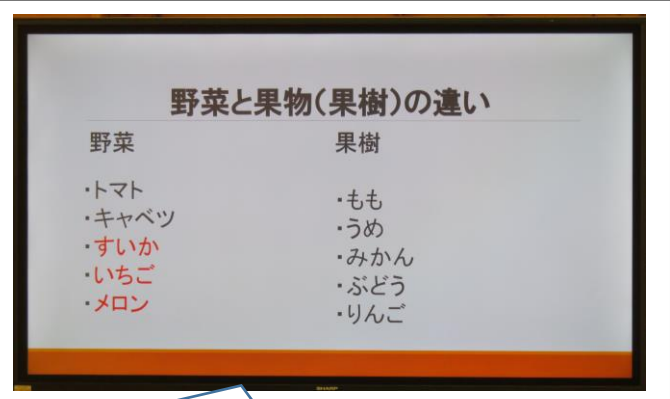
加古川は、和牛が有名です。他にも、志方のイチジク、神吉（舩田）の小芋（里芋）、尾上のネギが有名です。

1位 米	6位 プロイラー
2位 鶏卵	7位 レタス
3位 肉用牛	8位 もやし
4位 生乳	9位 キャベツ
5位 玉ねぎ	10位 大豆

出典
 平成25年6月 近畿農政局 神戸地域センター 近畿農政局 神戸地域センター
<http://www.maff.go.jp/kinki/tuiki/hyogo/org/pdf/hyougogaiyou201305.pdf>

なぜ、「残さず食べましょう。」と言われるのでしょうか。また、どうして、「いただきます」と言うのでしょうか。
 プロイラーは、卵からかえって何日目ぐらいで唐揚げの肉として出荷されるのでしょうか。それは、卵からかえってから100日ぐらいで、みなさんの食卓が上がってきます。たった100日しか生きられないのです。命をいただくという意味で、「いただきます」と言います。

野菜とくだもの（果樹）の違いは何でしょう。



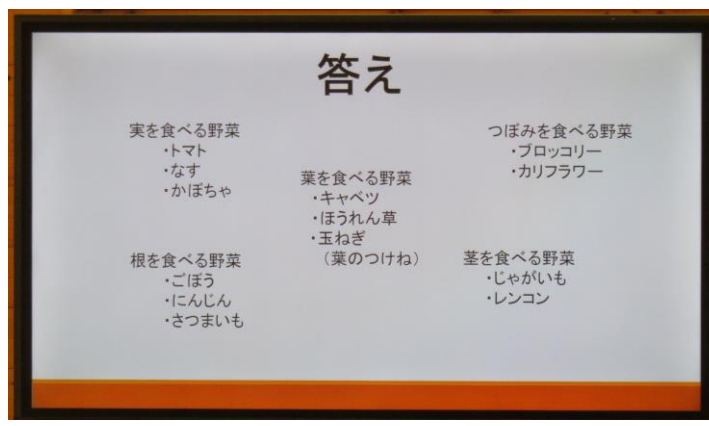
いつも食べている野菜は、植物のどの部分を食べているのでしょうか。

すいか・いちご・メロンは、甘いけれども野菜です。これらの苗は、一回切り取ってから、植え替えるので野菜です。

これに対して、2年以上その場所に植えているものは果樹です。

平荘町で一番最初にブドウを植えたのは、上原・磐東・磐西・中山です。(昭和26年)

マスカットやベリーAを育てていました。収穫したぶどうのほとんどは、大きなトラックに積んで市場に出荷していました。クリーンセンターの所も以前はぶどう畑でした。時代の流れの中で、だんだんぶどう畑がなくなってきました。生産者の中にも高齢になってぶどうが作られなくなった人も出てきました。今は、6名でぶどうを作っています。



ぶどうの芽は4月の終わりごろに出てきます。花の数を減らして房を整えます。どのぶどうにも種があるので、ジベレリン処理(2回)を5~6月にして、種をなくします。最終的にいらない実を落として形を整え、袋かけをします。実が熟して出荷が始まります。

おいしいぶどうになるように、水分が実に十分いくようにします。

ぶどうを育てていてうれしいことは、出荷した時に、お客さんが喜んでくれると励みになります。ぶどう作りを通して、人とつながりがもてるのがうれしいです。



ブドウ一房につき35~40粒の実をつけています。ぶどうは、上と下だと上の方が甘いです。



いちごは、花が咲いてから40~50日で食べられるようになります。いちごの花には蜜がありません。そこで、受粉のためにミツバチ3000匹をビニールハウスの中で放します。

農薬を適切に使用すると、収穫が安定します。最近では、農薬の代わりに、害虫に対する天敵を放す方法もあります。いちごの害虫はハダニです。このダニを食べるいちごや人に影響のないダニを天敵として放します。10回の農薬散布が3回で済みます。



最近では、アライグマやイノシシ等の害獣の被害がでてきています。

農業について、いろいろ学べました。ゲストティチャーの皆様、ありがとうございました。